

岐阜県の プラスチック

1977 9月号



産学で技術研究会 業界の知識と技術向上めざす

岐阜県工業技術センターと岐阜県プラスチック工業組合は、プラスチックに関する総合的な知識、技術の向上、改善、推進をはかるため「岐阜県プラスチック技術研究会」を設立するこ

とになった。さる7月末に開かれた工業技術センター運営協議会の専門部会・プラスチック部会で提案されたもので、会員を募り、近く第1回の研究会を開く予定である。

なお、研究会員は学術および試験研究機関とプラスチックおよび関連企業から参加をうるので、産学協同の事業として大いに期待されている。(写真は工業技術センター運営協議会)

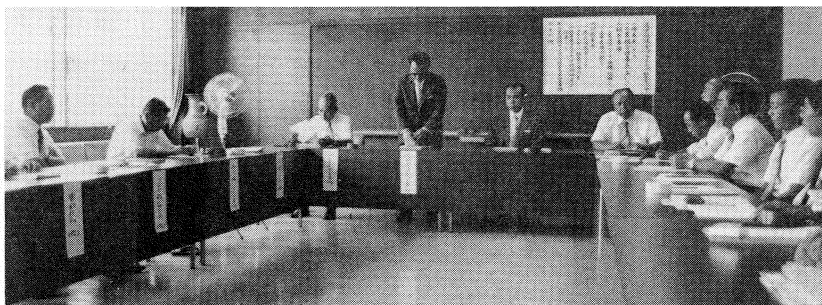
岐阜県プラスチック工業組合会報

技術水準の上昇に一役

「岐阜県プラスチック技術研究会」

関係企業から広く会員を募集中

試験研究機関とプラスチック業界が手を結んで設けることになった「岐阜県プラスチック技術研究会」は、石油危機いらいプラスチック産



業を取り巻く環境が厳しいことから、とくに業界側が期待していた。さきに岐阜県中小企業総合指導室がまとめたプラスチック成形加工の産地診断でも「新製品、デザイン開発研究の不足」「コスト改善など生産体制の不備、不足」「設備効率の悪化、技術水準の相対的低下」などの点が強く指摘され、その解決策がまたれていた。

研究会設立が提案された工業技術センター運営協議会のプラスチック部会でも、こうした業界が当面する問題点が出され、産学協同で一つ一つ解決して行くことになったわけ。

新技術紹介や講演講習会開く

技術研究会が行なう事業は、主として①情報・デザイン・資料の収集および提供②新技術の紹介③プラスチック業界の推移と動向の把握④研究発表会、講演講習会、見学会の開催などが予定される。研究会の事務局は工業技術セン

研究会設立が提案されたセンター運営協議会のプラスチック部会

ター内におき、具体的な運営管理についても技術センター側で行なわれる。

とくに技術センターにある高分子材料の物性、化学特性の試験研究施設や高分子製品の開発、加工法の研究施設などを利用しての研究会開催に業界関係者は期待している。

会長に大松 工組理事長が就任

研究会の運営は役員会が行ない、会長には工組理事長の大松幸栄氏が内定している。そのほか副会長に田中弘一氏（工組副理事長）武藤良雄氏（技術センター化学部長）また、委員には武藤昭三氏（工組副理事長）林三郎氏（同）納土栄一郎氏（工組理事）関谷裕彦氏（センター高分子科長）佐竹一良氏（センター研究員）山口真木二氏（センターデザイン室長）小見山邦武氏（センター総務課長）らが内定している。

なお、運営費は会費、助成金、寄付金などであて、現在、広く会員を募集している。

	51年実績			52年			53年			54年		
	数量	伸率	構成比	数量	伸率	構成比	数量	伸率	構成比	数量	伸率	構成比
車 両	46,900	13.3	25.5	49,400	5.3	25.8	52,300	5.9	25.4	55,100	5.4	25.2
電 気 器 具	63,300	28.9	34.4	65,700	3.8	34.2	70,400	7.2	34.2	74,700	6.1	34.1
その他機器	25,200	28.6	13.7	26,100	3.6	13.6	28,000	7.3	13.6	30,000	7.1	13.7
雑 貨	40,200	32.7	21.8	41,500	3.2	21.6	44,700	7.7	21.7	47,100	5.4	21.5
家具建材	3,000	36.4	1.6	3,300	10.0	1.7	3,600	9.1	1.7	3,800	5.6	1.7
そ の 他	5,600	27.3	3.0	6,000	7.1	3.1	7,000	16.7	3.4	8,300	18.6	3.8
国 内 計	184,200	25.3	100.0	192,000	4.2	100.0	206,000	7.3	100.0	219,000	6.3	100.0
輸 出	36,900	38.7	20.0	38,100	3.3	19.8	40,000	5.0	19.4	42,000	5.0	19.2
合 計	221,100	27.2		230,100	4.1		246,000	6.9		261,000	6.1	

※輸出の構成比の数字は国内計に対する輸出比率（単位：トン、％）

54年には26万トン ABS樹脂の需要見通し

ABS樹脂業界は、51年度の需要実績をまとめるとともに、54年までの長期需要予測を策定した。ABS樹脂の需要は、自動車およびテレビなど弱電関係の用途部門が好調なことから急速な需要回復をみているもの。この実績をもとに54年の総需要を予測すると26万1,000トンとなり、ピークを記録した48年実績25万トンをわずかであるが、追い越す見通しである。

51年は電器と雑貨が大幅増加

51年度の需要実績からみると、電気器具は28・9％、雑貨32・7％と大幅な伸びをみせ、また構成比の大きい車両部門も13・3％と2年連続10％を超える伸長率となった。このほか事務用品などその他の機器、洗面所部品、風呂用具などの家具・建材、農水産用もいずれも70％以上の需要回復をみせた。

この結果、51年におけるABS樹脂の総需要量は22万1,100トンとなり、49年、50年のマイナス成長を返上した。その伸び率は

27・2％を記録した。

52年は伸び悩み53年から増加

この実績をもとに需要動向を展望すると、52年は伸び悩やむが4・1％増の23万100トン、53年は6・9％増の24万6,000トン、54年は6・1％増の26万1,000トンに増大する見通しが出ている。

また、輸出も51年実績の3万6,900トンから3年後の54年には4万2,000トンへコンスタントにアップするもよう。

9月に東京で包装機械展開く

日本包装機械工業会主催の「'77ジャパンパック（日本包装機械展）」は、9月12日から16日までの5日間、東京・晴海の東京国際貿易センターで開かれる。出品企業は301社で、このうちプラスチックフィルム関係が17社、プラスチック容器関係は4社。

出品内容は①包装機械②包装資材③包装材料加工機械④食品機械⑤関連機械⑥物流機械⑦公害防止機器⑧海外出品一などと幅広く、とくに包装資材関係は無公害化の方向をめざすポリオレフィン系ストレッチフィルムはじめガスバリア性の高いフィルムが出品される予定である。

51年のプラスチック製品 生産16.6%出荷15%増

通産省がまとめた「51年プラスチック製品統計年報」によると、51年のプラスチック成形工業は自動車、家庭電気機械を中心とする業種が伸びたのを反映し、49年から50年にかけての停滞から抜け出した。指数で見ると、上期の生産、出荷は50年上期比で24.1%、20.9%と大幅増を示した。また、下期は秋からの景気停滞を反映して需要は鈍化したものの生産は10.1%、出荷は9.8%と50年下期を上回った。

年間を平均すると、50年に比べて生産は16.6%増、出荷は15.0%増、在庫は横ばい、年末在庫も5.4%増にとどまっている。

コンテナなど容器が大幅増加

製品別に動きをみると、フィルムは建材・工業用がめだったことから生産が9.1%、販売は7.6%それぞれ増加した。板は平板の生産、販売はともに22.0%増、波板は3.1%増、4.3%増。パイプは公共投資の遅れが影響して需要の動きが鈍く、生産は3.6%増、販売

は0.8%減。

容器類は各種コンテナが大幅増加したことから生産は28.7%増、販売は23.0%増。発泡製品は生産が17.0%増、販売が15.8%増。

岐阜の伸びは全国平均と同じ

地域別の動きは栃木、埼玉、滋賀、静岡、茨城が全国平均の増加率を上回り、東京、神奈川、大阪、兵庫など大都市圏は下回った。岐阜は全国平均と同じで、ウエートは3.4%と横ばいであった。

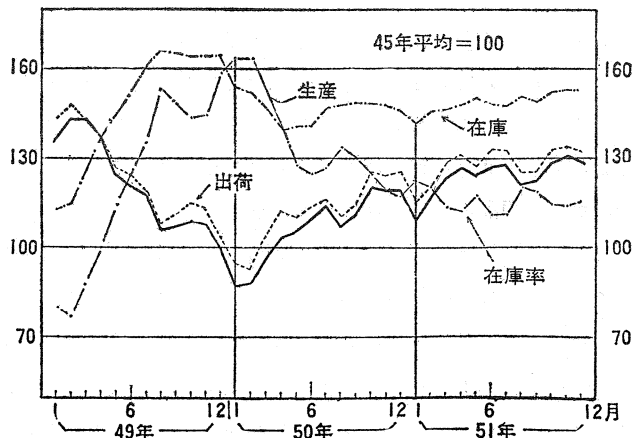
企業規模別の動きは、中小企業は従業者数で50.7%を占めているが、生産量では32.7%、販売額では36.9%。大企業（資本金1億円

地域別の動き	生産(ト)	50年比	構成比
以上)	350,481	16.9	11.6
に比べ	318,593	10.7	10.5
格差が	278,525	10.6	9.2
みられ	261,506	17.2	8.6
る。	237,376	14.6	7.8
	185,362	15.7	6.1
	165,682	6.9	5.5
	149,957	7.0	5.0
	106,977	23.0	3.5
	103,571	14.9	3.4
	102,315	14.8	3.4
	90,055	17.4	3.0
全国計	3,025,437	15.0	100.0

規模別の動き (50年比)

項目	中小企業	大ク
A生産総合	20.4	12.5
①フィルム	6.7	10.4
②シート	23.7	26.1
③板	22.8	11.2
④合成皮革	△3.4	10.9
⑤パイプ・継手	66.6	2.2
⑥機械器具部品	39.2	17.9
⑦日用品、雑貨、容器	20.1	12.3
⑧建材	4.0	26.8
⑨発泡製品	19.9	15.0
⑩強化製品	26.2	11.5
⑪その他	28.8	17.3
B販売総合	14.8	11.8
C金額	18.7	25.0
D年末在庫	△12.2	12.8
E年末従業者数	1.0	0.2

プラスチック製品の生産・生産者出荷・生産者製品在庫・在庫率指数



吹上でプラ展開く 10月19日から23日まで

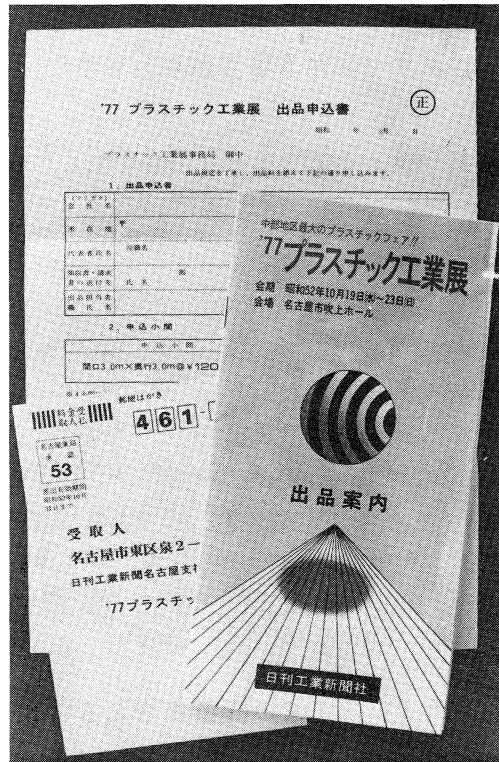
日刊工業新聞社主催による「'77 プラスチック工業展」が、10月19日から5日間、名古屋市千種区の吹上ホールで開かれる。各種のプラスチック製品、工業材料、成形加工機、二次加工機、合理化機器、公害防止機器などを一堂に集め、関係者に広く公開するもので、中部地区唯一のプラスチック総合展として期待されている。

出品者募集はすでに始っており、締め切りは8月末日。出品料金は1コマ（間口3米、奥行3米、高さ2・7米）12万円。コマ割りは、事務局が出品物の業種、形状、申し込み順位、会場の構成などを勘案して決定される。

申し込み先は、名古屋市東区泉2-21-28、日刊工業新聞名古屋支社、'77プラスチック工業展事務局まで。なお、当工業組合に出品案内書、申し込み書が準備してある。（右の写真はその案内書）

プラ業界のビジョン 愛知県が60年目標に策定

愛知県は昭和60年を目標にした「プラスチック産業」と「鉄鉄鋳物産業」の長期ビジョンづくりをすることになった。両業種とも過剰設備を抱え、業界再編成を迫られている産業で、近く学識経験者、業界代表、行政機関からなる研究会を発足させ、新しい将来像の策定作業に入る方針である。愛知県下のプラスチック産業は、昭和25、6年ごろから急速に発展した業界で、現在、県下で約1,500社の加工メーカーがある。当初はベークライトや塩ビの加工メーカーばかりであったが、ポリプロピレンやア



クリルなど樹脂の多様化から生産業種も工業用、日用雑貨、農林水産、建材用などへ広がってきている。

ところが日用雑貨品は低開発国の追い上げが激しく、また、国内では①薬品に強い②老化しないなどプラスチックの特性が、逆に廃棄物として処理する際の難点となり、対策が必要になっている。また、化学製品であるため容器に使う溶剤が果たして安全かどうかなども議論されており、解決すべき課題は多い。

研究会を発足させ内容を盛る

さらにプラスチック業界は、原料高と製品安による板ばさみと過当競争の二重の苦境から再編成の時期にきているといわれている。このため愛知県商工部は、業界に対してアンケート調査を実施したあと研究会を発足させ、来年3月末までに長期ビジョンをまとめる方針。

全国業界のニュース

◎ポリフィルム業界が構改着手◎

日本ポリオレフィンフィルム工業組合は、10月中に構造改善事業計画の認可が得られるよう準備を急いでいる。これは現在実施中の不況カルテルはあくまでも緊急避難的措置であり、不況脱出は業界ぐるみの構造改善以外にないとして、11月にも構改スタートにこぎつきたい意向である。

工組がこれまでにまとめた計画によると①321社が参加(業界の96%)して過剰設備を廃棄する②地域別による事業協同組合方式で事業の集約化をはかる③近代化設備の導入をはかり共同受注や原料の共同購入を行なう④廃転業を促進する一などを骨子としている。

◎ナイロン12の需要が増える◎

ダイセルはエンジニアリング・プラスチックのナイロン12樹脂「ダイアミド」の需要増加と用途拡大に応ずるため網干工場の設備を増設、50%アップの月産150トンに拡大する。

ダイアミドはナイロン12を主体とする樹脂で、融点が比較的低いことから成形可能な温度範囲が広く射出成形、押し出し成形、粉末が可能な樹脂といわれる。用途もサッカーシューズやスキーのビンディングなどスポーツ用品はじめ自動車、弱電部品、チューブホース、ワイヤケーブル、印刷用などと幅広く利用される。

◎富山市内のプラ業者10%も増加◎

富山市産業奨励館が行なった富山市内プラスチック企業75社の実態調査によると、51年の総生産額は141億9,523万円で、前年比10%増であった。

業種別では工業部品(弱電、自動車部品)が52億5,000万円(37.0%)日用品関係

51億9,300万円(36.6%)強化プラスチック(FRP)16億1,000万円(11.3%)プラスチックシート加工9億6,203万円(6.8%)容器関係5億9,420万円(4.2%)金型関係5億8,600万円(4.1%)の順となっている。

なお、富山市内のプラスチック企業75社の内訳は圧縮・射出、FRP工場57社、シートフィルム加工9社、装飾・塗装加工4社、金型加工5社である。

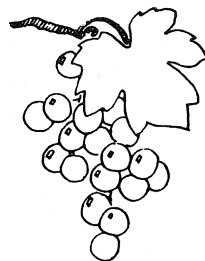
◎ウレタン需要にかげり見える◎

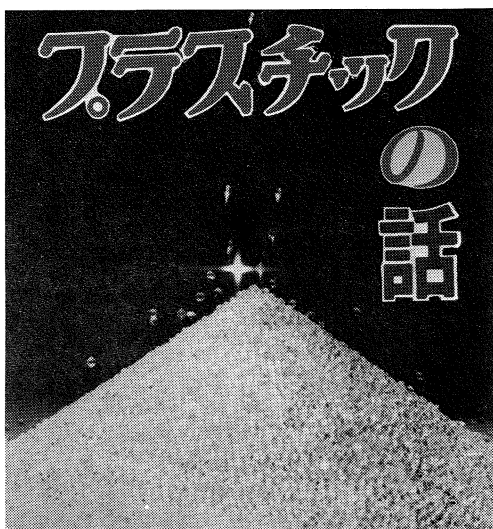
先行きの成長が期待されていたウレタンフォームの需要にかげりが出てきた。業界の調査によると1-6月の生産実績は軟質、硬質合わせて6万7,535トンで、年初の予想(5%増)を裏切り、昨年同期比2%減となった。

国で違う『くだもの』の定義 雑学事典

「くだもの」は「木の物」が転化した言葉で本来は木に成ったものを指す。アメリカでフルーツといえば木に成った実をさし、ヨーロッパではイチゴ、メロンといった草木植物まで含んでいる。日本ではアメリカ式に木に成るものと呼んでいたが、最近ではヨーロッパ式に草に成るものまで「くだもの」というようになった。

奈良時代から平安時代初期までは、菓子というと、くだもののことをいっていた。そこで、中国から現在でいう菓子の作り方が伝わってきたので、くだものを「なりくだもの」現在の菓子を「から(唐)くだもの」と区別するようになった。江戸時代にはくだものを「水菓子」と、普通の菓子と区別して呼んだ。





東京都がポリ食器に安全宣言

安全性に疑問が出ていた学校給食用のポリプロピレン食器について、東京都ポリプロピレン問題調査専門委員会（座長＝秋谷七郎昭和大学名誉教授）は「摂取する可能性のあるBHTは極めて微量で、その毒性も人体に影響を与えることはない」と安全内容の答申を東京都に出した。これでポリプロピレン製食器は、こんごも給食用に使ってもよいことになった。

一時は食器追放運動まで起る

ポリプロ食器から酸化防止剤のBHT（ブチル・ヒドロキシ・トルエン）などが溶け出す問題は、昨年から消費者団体や父母の間で不安の声となり、各地でポリプロ食器の追放運動が起きた。この動きに東京都は、ポリプロ問題専門委員会を発足させ、ポリプロ容器の酸化防止剤について実験を始めた。

学校で使用中のポリプロ製さら、ボールなど合計34個を溶媒（ノルマルヘプタン）に1時間浸した実験では、BHTが最高3・30PPM、他の酸化防止剤DLTDP同3・15PP

M、DMTDP同3・7PPM、DSTDP同0・47PPM、インガノックス同0・54PPM、アンテージ同0・43PPMを検出した。

実験で検出したが影響認めず

これらの溶出量から小学1年生の給食1回で体内に入る酸化防止剤の最高量を計算すると、体重1キロ当たりで一番多いDMTDPでも0・00132ミリグラム、最低のアンテージが0・00015ミリグラム、BHTは0・00116ミリグラムで、世界保健機構（WHO）の1日摂取許容量体重は1キロ当たり0・5ミリグラムの500分の1程度。1回給食に2、3種類が使われるとしても200分の1を超えることはない微量とわかった。

また、6種類の酸化防止剤のうち安定性が最も問題になったBHTについての動物実験では、妊娠初期のネズミに体重1キロ当たり1,800ミリグラムという多量を与えたが、生まれた子どもに奇形は認められなかった。

さらに大腸菌などを使った突然変異誘起性実



験でも変異は起きず、体重1キロ当たり160ミリグラムをネズミに毎日食べさせた長期慢性毒性実験でも平均寿命は普通のエサだけのネズミとほとんど同じで、そのほか体重増加、途中死亡率、シュヨウ発生などの変化もなかった。（写真はポリ食器追放を報じたNHKテレビ）

デザインコーナー

岐阜県プラスチックデザイン協会

美学とデザイン

デザインする者にとって、美学はデザインを
実行するための道具であり、その者のレパート
リーのなかで最も重要なもののひとつである。

感動させ、楽しませるもの、そして美しく、
刺激的で、喜びにみちいて、有意義であるも
のへと形と色を構成するのに役立つような道具
なのです。

しかし、美的なるものの分析に使えるような
既成の尺度、また試験器などのようなものはな
いだから、美の追求と言ってもそれは神秘的に
満ちていて無意味に包まれた個人的なものにす
ぎないのです。ただ、多くの人間が好むものが
何であるか、嫌いなものが何であるかをおおざ
っぱに感じて行動しているにすぎないのです。

そこで、今日に至るまでの美学とデザインに
ついて調べてみると、美学という概念は、近代
にはいつて確立されたもので、それ以前におい
ては、ひろく技術のうちにふくまれ、長い間に
わたって生活環境、社会環境を形成する重要な
役目として働き、今日で言うところのデザイン
的機能を果して来たことがわかってきました。

元来、技術には効用的なものと、美的なるも
のとは内蔵されていたために、やがて混乱と対
立を招き、18世紀のドイツの批評家達は、美
的技術を効用技術から完全に分離するため、芸
術至上主義という新説をとらえ、技術と絶縁し
た美的技術を、芸術という絶対境にまつりあげ
てしまったのです。

すなわち、美的価値の創造は、純粋にして合
理を超越し、内発的な原体験による個人の主観
性を尊び、自己表現を中核としたいわゆる純粋
美術だけを、アートなりと定義づけたのです。

それいらい、美学は次第に実生活から遊離す
るようになって来ました。一方、18世紀初頭
イギリスに出現した新しい機械は美と技術の協
調を破って奔流のように進出し、中世以来のギ
ルド・アルチザンは解消し、新しく台頭した実
業家と結んで、機械による生産は利潤の追求に
走り、完全に技術と美学は分離したのです。

そして今日、科学技術の支配する工業社会の
巨大な機構に仕組まれたままの人間は、個人的
人格としての自律性をうばわれ、強い自己疎外
感をもつようになり、人間性をまもらうと抵抗
する美学と、科学技術に協調し有効に使おうと
するデザインが生まれたのです。そしてデザイ
ンは、方法・効用・要求・目的指向性・アイデ
ア・美学の機能複合体として考えるようになっ
たのです。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂
NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂
NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂
NOVADUR
ノバデュール

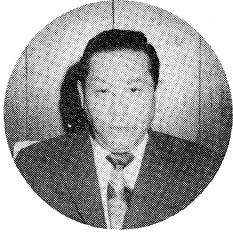
中低圧ポリエチレン
ポリエチレン **NOVATEC** **NOVATEC-L**
高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

先祖のお話



児玉 庄一

毎日、暑い日が続きましたが、皆様にはお変わりございませんか。過日、事務局より今月のずいひつは私の当番

であるから…とお知らせをいただきましたが、もともとペンを取ることが苦手で、文章になるかどうか心配しながら書かせてもらいます。

私の住所は揖斐郡大野町大字下座倉という所で、揖斐川と根尾川が合流して三角洲になったところ。西も東も河に挟まれて不便ですが、ただ、5年ほど前、根尾川に座倉大橋という橋がかけられて、ようやく岐阜方面へ出るのに便利になったような土地柄です。

さて私の祖先ですが、私より何代か前の事かつまびらかではありませんが、兄弟3人が関ヶ原の合戦に島津軍の部下として、現在の鹿児島から従軍したと云い伝えられてきました。しかも、関ヶ原へ従軍した兄弟3人のうち2人が戦傷しましたので、下座倉の草深いところで身体の傷をいやしたのだそうです。この地は現在でもなお不便なところですから、四百年もの昔は雑木林が生い繁っていたものと考えられます。

島津軍から取り残された3兄弟は、ここに身をひそめていたが、傷が治るとともに気を取り戻し、林を切り開き、種子を播き、食物を自給自足し、生活するようになったのです。そして厳しかった戦役後の徳川方や石田軍の取り調べも、月日を経るにつれてゆるみ、3兄弟は落ち着きを見せ、独立して生活するようになったのです。そこで長兄はそのまま下座倉にとどま

り、次兄は安八郡神戸町丈六道に、また末弟は不破郡垂井町岩手に家系をたてたという。

関ヶ原戦史によりますと、敗れた島津軍は桑名から海路で徳島を通り、国の薩摩へ帰りついたのは出陣した3千人のうちわずか7、8人だったと記されています。4百年もの昔に、祖先が遠く鹿児島からはるばる関ヶ原の地に来て、しかも敗れて帰ることは大変に難儀であったと思われ。それにしても戦役後の徳川方、とくに石田軍の厳しいせんさくの中で、兄弟3人が助け合い、しかも、傷の手当までした当時の情景を思い浮かべるとき、私は感慨無量のものがあります。

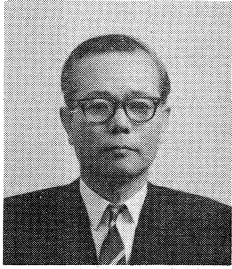
いつの日か、家系に興味をもっていろいろ調べたことがあります。私の家紋は「軍配うちわ」ですが、やはり云い伝え通りの次兄・神戸町の家系も、垂井町の家系も「軍配うちわ」です。そして神戸町には児玉姓が17軒ほど、私の住む下座倉には19軒の児玉姓があります。

また、この下座倉に神明神社という部落の氏神さまがありますが、祠の中には3体の氏神さまが祀ってあります。大正9年に合神されたのですが、3つの氏神さまとは、下座倉にある宇野、田代、児玉の3家が祀ってきたもので、ここに児玉家の氏神さま八幡神社が祀られています。

この岐阜県は関ヶ原合戦をはじめとして、歴史的に戦の多い土地柄で、敗れた武士がそのまま土地に住み着いた話が各地に残っています。たまたま私の祖先もその例にもれなかったわけですが、とくに鹿児島から出陣してきた3兄弟が力を合わせて生き抜いたところに、児玉の家系が、いまの私が、この世に残っているわけで、祖先を思うたびに神秘的な思いにかられます。(コダマ樹脂工業社長)

工場公園の完成をめざす

児玉化学研究所を訪問



9月の工場拝見は理事の児玉治さんが経営する児玉化学研究所を訪問した。本社は岐阜市金町にあるが、工場が40年に全焼したのを機会に美濃市大矢田字中洞の丘陵地へ移転

児玉 治所長 線業している。もみじで有名な大矢田神社の入口で、面積は約10万平方米もある。用地の裏半分は小山で、児玉さんはこの地形を生かし、工場公園をつくるのが夢という。すでに小山を活用してミニドライブウェイ（延長1キロ）が形をなしており、利益の一部を毎年つき込み、理想的な工場を完成していくのだという。

児玉さんは2次大戦時、大東亜省の事務官で、工場を経営するなんて考えてもみなかったという。30歳のとき復員、奥さんの故郷である岐阜市真砂町で鋳物工場を運営したのが23年。ところが武家の商法でうまくいかず、当時の金で400万円の借金を抱えた。続いて熱硬化樹脂の販売や刑務所へ手動プレスを持ち込んで成形加工したが、どれも武家の商法に終わってしまったという。

工場が全焼して美濃市へ進出

児玉さんは不屈の精神で気を取り直し「技術を身につけない経営はありえぬ」として、桜木町で新しい成形加工工場をつくった。製品は付加価値の高いものを重点にしたことから、こん

どは大成功。借財も減っていった。ところが40年の12月、火災で工場が全焼、復元できず、美濃市の工場誘致を受けて進出した。

工場は現在3むね（延べ3千3百平米）と事務所、従業員寮がある。工場内には20台にのぼる射出、圧縮成形工場（写真）のほか塗装、印刷、钣金など2次加工工場がある。従業員は37人とほかにパートがいる。

個人企業貫き人に迷惑かけぬ

製品は時計、体温計ケース、鉄道用締結装置、などとバラエティーに富む。これは貴重な体験からきた不況に耐える企業体質をねらったもので、1社あたりの取引量も売り上げの30%以上にならないようにしている。また、企業の特徴は個人企業で経営されていることで、児玉さんは「失敗しても人に迷惑をかけないので、この方が気が楽だ」という。

社は「無限への挑戦」社訓は「日々新」で、



こんご経営、技術など工場内部のことは3人の息子（力、治邦、治城さん）にまかせ、児玉さんは「従業員に働いてよかったと述懐してもらえる児玉ユートピア（工場公園）づくりに精を出す」と話している。



□原材料盗難に注意□

さきに組合から郵便はがきで連絡しましたように、愛知岐阜の両県下でプラスチック材料の盗難事件が多発し、損害を受けた企業が相当数にのぼっております。組合員の皆様には工場並びに材料倉庫の警備に万全を期せられると共に、材料購入についても一段とご注意を願います。

なお、最近の被害状況によると愛知県下で4件、352袋、岐阜県では1件、150袋にのぼっており、岐阜北署刑事課から捜査協力の依頼がきております。

□経営者共済と分譲宅地募集について□

岐阜県中小企業福祉センターは、県内中小企業およびその従業員を対象に「経営者傷害(生命)共済」の加入と「松林寺団地分譲宅地」の分譲希望者を募集をしています。

共済制度は中小企業経営者が不慮の傷害、疾病による死亡の場合に共済しあおうとするもので、会費(A 8,600円、B 6,000円)によって最高212万円の給付がうけられます。

また、松林寺の分譲宅地は第2期工事分21区画で、場所は関市千疋八ヶ洞・竹ノ腰・裏山

地内です。この2事業の案内書は工組事務局にあります。希望の会員はご連絡下さい。

□発明くふう展に出品して下さい□

「岐阜県発明くふう展」がことしも9月29日から4日間、岐阜産業会館で開催されます。この行事には当工業組合も毎回協賛し、しかも第1部の特別小間に出品しています。

事務局では特別小間出品のため装飾プランを練っているところです。会員の皆さんで発明考案品や創意くふうに富んだ商品がありましたら出品下さい。出品料は組合が負担します。

岐阜県のプラスチック 1977 9月号

昭和52年9月5日印刷

昭和52年9月6日発行

発行 岐阜市六条1337(岐阜産業会館内)
電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地
電話(0582)47-7231

中部パブリシティセンター

三菱油化株式会社

取締役社長 黒川久

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区広井町3丁目88番地(大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

不飽和
ポリエステル
樹脂

ポリマール®

ポリマール® マット

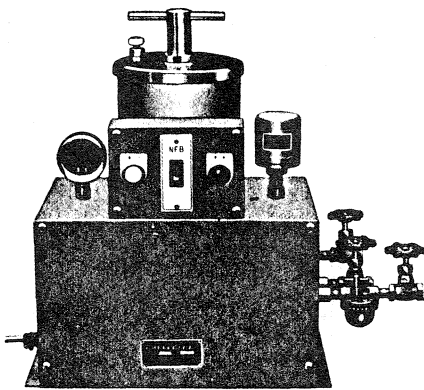
▲ 武田薬品工業株式会社

本 社 大阪市東区道修町 2-27 TEL 06-204-2460
東京支社 東京都中央区日本橋 2-12-10 TEL 03-278-2788
名古屋支店 名古屋市中区錦 2丁目 2番13号 TEL 052-202-7051

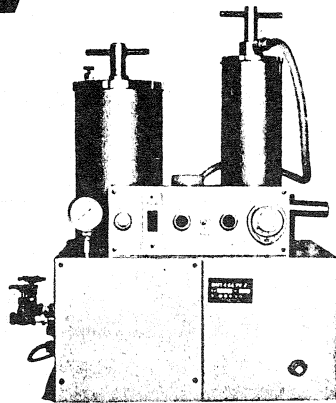
油圧機械・油圧システムのガードマン

GMT オイルクリーナー

特許・実用新案出願中



F-80P



F-180-PHW

オイル代50%削減は楽にできます。

- 濾過機能0.1ミクロン
 - 微小異物や水分を取除く
 - オイルを従来の3-4倍長持ちさせる。
 - 機械の寿命を長持ちさせる。● 安全で年中無休で働く。
 - オイルポンプにも利用出来る。
 - 小型化・軽量化されている。
- *用途別に各種製作致しております。お問合せ下さい。

岐阜キコウ

〒500 岐阜市正法寺町29-1 TEL<0582>71-6312

好評 **PLASTAR TM**シリーズ

第二弾

“**S**シリーズ開発”

S-50, S-100, S-150, S-250

より強く, より速く, より便利に

より少ない電力消費 そしてより安く

BSK 東洋機械金属株式会社

本 社 工 場 明石市二見町福里 TEL 07894②2345

名古屋営業所 名古屋市中村区則武1丁目2番1号
(兼重ビル) TEL 052-452-1066

◎岐阜出張所 岐阜市光町一丁目二番地
TEL 0582 ③ 4 7 2 2
夜間も23時迄 TEL O.K.

合成樹脂原材料及び機械

KOSHI

日清紡績株式会社 社代理店
三菱モンサント化成株式会社 社代理店
ダイセル株式会社 社代理店
松下電工株式会社 社代理店
三菱レイヨン株式会社 社代理店
日本合成化工株式会社 社代理店
三菱瓦斯化学株式会社 社代理店
東芝ケミカル株式会社 社代理店
其他著名メーカー 特約販売



甲子産業株式会社名古屋支店

名古屋市昭和区白金1丁目4番13号
電話 (052) 882-0631 (代表)

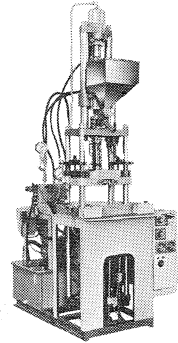
さんじょうの射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量 5 グラム (1/6オンス) より 600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご用命下さい。

— 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス溶融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。
—成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー—

株式会社 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町32番地	TEL(03) 972-0561(代)
業務部・工場	埼玉県川口市中青木2丁目18-21	TEL(0482) 51-6156(代)
名古屋営業所	名古屋市北区楠町味鋤政所28番地	TEL(052) 901-5861番
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代) 八王子出張所	TEL(0426) 51-7144番
九州営業所	TEL(092) 571-2740番 小倉出張所	TEL(093) 471-1079番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733番 城南出張所	TEL(03) 776-2254番
広島出張所	TEL(0822) 32-2785番 沼津出張所	TEL(0559) 22-9610番

日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

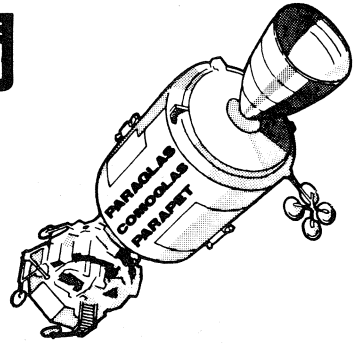
コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダーのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

NISSEI
P

1 歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代) 〒389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(茜ビル) ☎(0582)72-5952

限りなき創造空間 への挑戦



メタクリル樹脂・注型板

パラグラス[®]

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成型材料

パラペット[®]

国産無公害資源“天然ガス”の総合開発分野を
リードする協和ガス化学。その『メタクリル樹脂
製品』は生産量で世界の五指に数えられ、
モノマーから、ポリマーまで一貫生産され、
圧倒的信頼とシェアを誇っています。



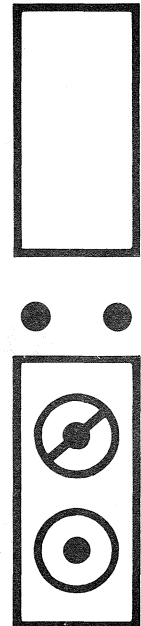
協和ガス化学工業株式会社

本社 / 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03)2711-3001
大阪事務所 / 名古屋営業所 / 福岡営業所 / 仙台営業所

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



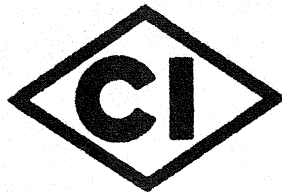
日本合成ゴム株式会社 本社 / 東京都中央区築地2-11-24 TEL.(03)541-4111・名古屋支店 / TEL.(052)571-1231

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 化学物産部合成樹脂課

名古屋市中村区笹島町1丁目223番地 (名鉄バスターミナルビル)
電話 名古屋 (052) 583-(2481~2486)

騒音防止板“L/LM-S” 騒音対策コンサルタント

電話一本で貴社の悩みを解決します

防音工事全搬のご相談に応じます

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区広小路西通り3丁目4番地(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1304代

出光の石油化学製品



◎取扱品目

ポリスチレン
高压ポリエチレン
中低压ポリエチレン
ポリプロピレン
ABS樹脂
不飽和ポリエステル
カルブ®
ポリカーボネート

出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

東京営業所 東京都中央区日本橋1-7-17(日本橋東海ビル) 〒103 ☎ 03-272-8331

名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名典ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

大阪営業所 大阪市北区小松原町27(富国生命ビル) 〒530 ☎ 06-312-8841

福岡営業所 福岡市中央区大名2-8-26 〒810 ☎ 092-721-6617



生きてる素材。 三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

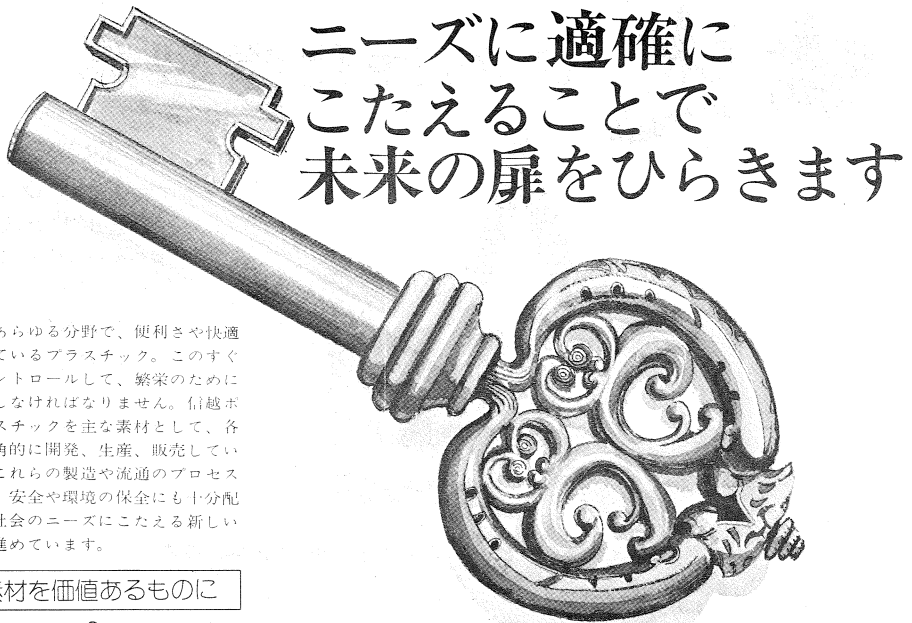
メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



ニーズに適確に こたえることで 未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋市中村区広小路西通3-4(新名ビル東館) ☎052-581-14231

皆様に技術と信頼で奉仕する

プラスチック機械の総合メーカー



日鋼射出成形機を始め
あらゆるプラスチック
加工機械について御相
談下さい。

(株)日本製鋼所 名古屋営業所

名古屋市東区布池町32 TEL (935)9471・(935)9481(日鋼サービス)

<総代理店>

三井物産(株)名古屋支店(機械部) 名古屋市中村区笹島町豊田ビル TEL 584-2340

<代理店>

大和プラスチック機械(株)名古屋営業所 名古屋市中村区則武町2-7(ノリタケビル) TEL 452-4021

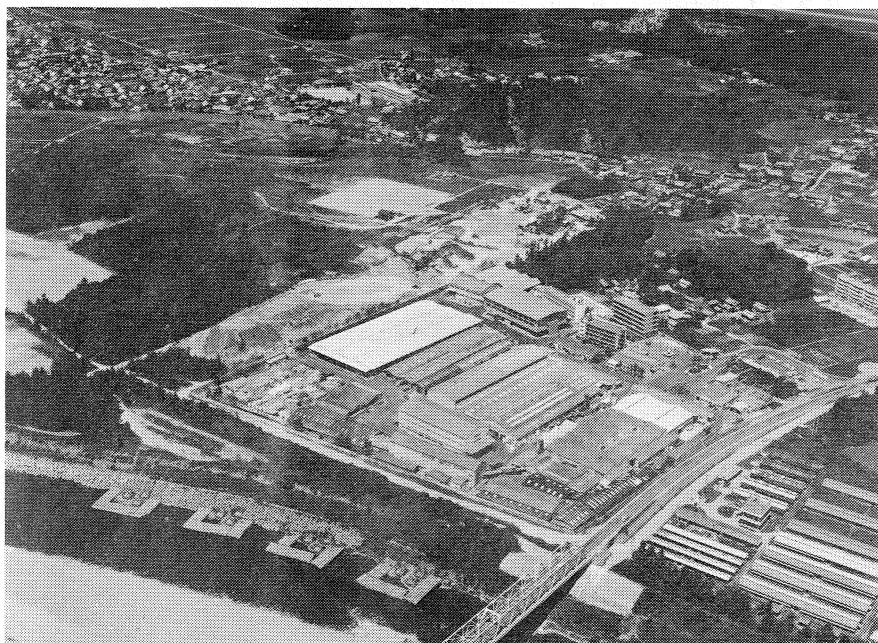
柏木実業株式会社名古屋営業所 名古屋市東区高岳町1-11(司ビル) TEL 931-6044

日鋼商事(株)名古屋営業所 名古屋市東区布池町32 TEL 935-9361

すぐれた品質と広範囲なシェアをもつ!!



リスのプラスチック



非常に多くの適用範囲でしかも経済的に使用できる商品にはない。リスマークは岐阜プラスチック工業(株)が成形しているプラスチック製品につけられたブランドネームです。全国における販売シェアは常にトップクラスにランクされています。

家庭用品から大形コンテナまで、そのすぐれた品質・機能・デザインは全国の市場で高く評価されています。

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮